

統計データ分析コンペティション 2018

審査委員長総評

「教育用標準データセット (SSDSE)」に基づく統計データ分析コンペティションの審査では、統計的方法の利用法や論文論旨などの妥当性を重視いたしました。しかし、それ以上に生徒・学生の皆さんが公的統計データを通じて、どのようなプロセスで社会を眺め、どのように社会課題に向き合い、実証に基づく解決策を考案したか、また今後の統計教育資料として役立つ内容かなどに重点を置いて審査させていただきました。

もちろん、統計科学・データサイエンス技術に大変感心した論文も多々ありました。高度なデータ分析の力量を発揮していても、考察や提案の妥当性検証が少し表面的になってしまい、もう一步と思わせる論文もありました。しかし、今回応募された高校・大学・大学院・一般の論文はいずれも力の入ったもので、審査員一堂大変好感をもって審査に当たることができたこと、御礼申し上げます。

その意味で、審査員からは、表彰対象となった論文についても、こういうところが問題だ、改善すべきだといった指摘はございました。それぞれの論文の講評は、各論文の前に付けております。

今回提供した「教育用標準データセット (SSDSE)」と、それに基づくデータ分析と社会に対する考察といった活動が、今後も日本全体に広がり、それがデータ駆動型社会を担う若い方々の育成に繋がることを審査員一同心から祈念しているところです。

統計データ分析コンペティション 2018

論文審査会

審査委員長

椿 広計 独立行政法人統計センター理事長（筑波大・統数研・総研大名誉教授）

審査委員

佐藤 美佳 独立行政法人統計センター理事（筑波大学システム情報系教授）
竹内 光悦 日本統計学会統計教育委員会委員長（実践女子大学人間社会学部教授）
田村 義保 独立行政法人統計センター特別研究員（統計数理研究所特任教授）
千野 雅人 総務省統計局長
長尾 篤志 文部科学省初等中等教育局視学官
西村 圭一 東京学芸大学自然科学系教授
美添 泰人 一般財団法人日本統計協会理事長（青山学院大学経営学部招聘教授）
渡辺 美智子 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授

（敬称略）